

チーム豊成の力を高め、「潤いと勢い」のある学校づくり

Connect



帯広市立豊成小学校 キャリアプロジェクト通信

令和5年6月26日
NO.2 文責 菊谷

キャリア

薬物乱用非行防止教室

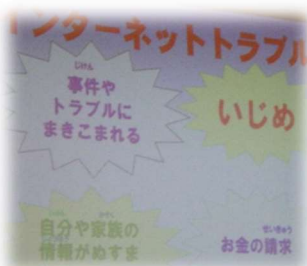
自分の生き方に生かせることは・・・

6月9日（金）、5・6年生を対象に「薬物乱用非行防止教室」を行いました。お話ししてくださったのは、帯広警察署生活安全課少年係の柳町さんです。

5年生は非行防止についての学習でした。万引きは、非行の入り口であり、「あれ？」

と思ったときには、犯罪者になっている場合があるそうです。また、

「いじめ」についてもお話もしてくださいました。友達の持ち物にいたずらをしたり、SNS等で悪口を書き込んだり、ほんの小さな悪ふざけや面白半分での行動がいじめに繋がることを知り、誰もが加害者となり、被害者にもなりうる怖さを学びました。家族や周りの人にまで、大きな悲しみを与えてしまうかもしれないというお話は、子どもたちの心に深く刻まれたようです。



6年生は、薬物乱用防止の学習として「お酒やたばこの害」と、覚せい剤や大麻などの「薬物の害」についてお話を聞きました。お酒やたばこによって脳が委縮してしまうことや、「1回だけなら大丈夫！」という気持ちで使用してしまった少年が依存症や強い記憶障害、精神障害となってしまう例は衝撃的でした。数多くの犯罪行為やトラブルに巻き込まれた子どもたちを見ている警察官の柳町さんから、「断る勇気をもつこと」「一人ひとりが正しい情報を見極める力をもつこと」「愛する自分を大切にすること」というメッセージを残してくださいました。子どもたちにとって、生き方を考える大切な時間となったようです。

報を見極める力をもつこと」「愛する自分を大切にすること」というメッセージを残してくださいました。子どもたちにとって、生き方を考える大切な時間となったようです。

○大切なのは、断る勇気。一緒にやると犯罪になることがわかりました。

○ネットのアカウントを消しても残るということを初めて知りました。ネットは世界中の人が見ているのでやる際は気をつけたいです。

○小さいいじめが大きな犯罪になってしまうことがわかりました。

○取り返しがつかなくなる前に気を付けて行動したいです。（5年生の感想より）

○薬物に自分が関わってなくても、関係ないわけではないということがわかりました。

○普通の薬も使い方を間違えると薬物乱用になるので怖いと思いました。

○薬物乱用はお危険なことがわかりました。警察官にあこがれていたので、良い経験になりました。

○誘われても絶対に断る。「薬物乱用は絶対にダメ！愛する自分へ」を大切にすること！

（6年生の感想より）